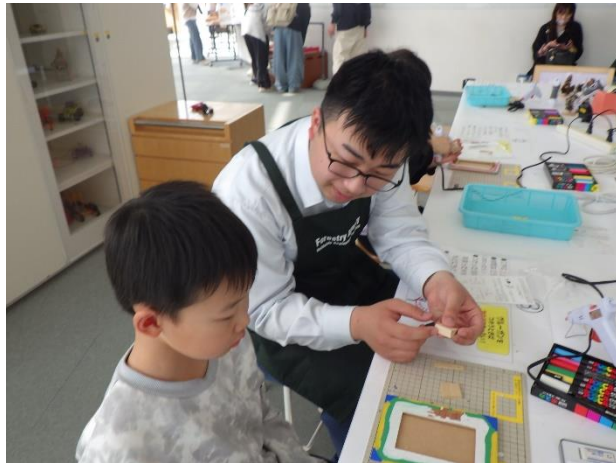
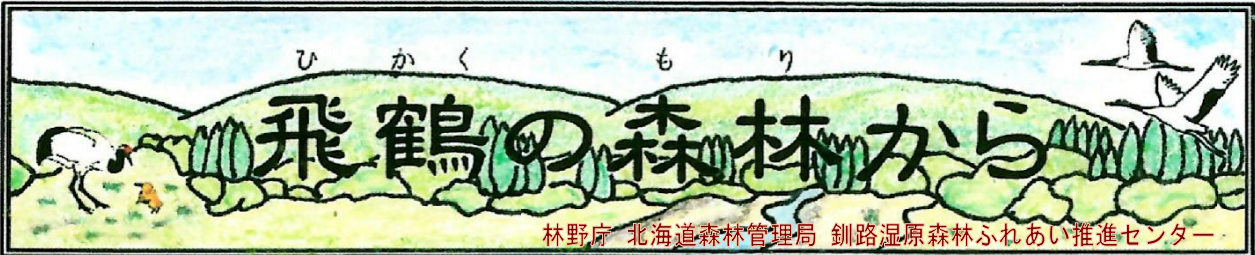




△ふれあい木工クラフトの様子

「ふれあい木工クラフト」開催！
令和8年4月29日～5月6日の8日間、あすなる会こども遊学館で、GWイベント2026「木のおもちゃであそぼう！」が開催され、「木工具体験（カンナ掛け・薪割り）」などの様々な催しが行われました。
当センターは、5月2日と5月3日に、マツボックリやドングリ、木の枝・輪切りといった森林の素材で「森林の恵みを使って工作しよう！」をテーマとして、ふれあい木工クラフトを実施しました。



▷完成した作品の様子

あすなる会こども遊学館のスタッフとボランティアの皆様にお手伝いいただき、多くの方々に参加していただくことができました。
2日間とも、室内でのイベントに、多くの親子連れが、木工クラフトに熱中している姿が見られ、森林の恵みを存分に使ったフォトフレームや子供たちで自由に作った作品を親に見せている姿が印象的でした。
GW期間に、ご家族やお友達と一緒に木工クラフト作りを楽しんでいる様子が見られるイベントが開催でき、良かったと感じました。
来年も木に触れ合う機会として、協力したいと考えています。



△「森林講話」の様子

環境学習講話「身近な樹木・林業」
令和8年5月7日、標茶町立虹別中学校において、環境学習の時間で「森林講話」を実施しました。
この取組は、令和4年度より実施しており、今年は、3年生7名にパワーポイント資料で実施しました。
まず、身近な樹木について、樹名の由来を含め説明し、生徒はしっかりとメモをとっていました。メモを取るスペースが足りずに資料の裏にまで書いていて感心しました。
次に、林業（循環する産業）について、「伐って・使って・植えて・



△模型キットを飛ばしている様子

育てる」を循環する産業であること、今使っている木材は、昔の人々が育てたものであり、将来のために、森林を整備していくことが大切であるとお伝えしました。

最後に、種の運ばれ方についての講習を実施した後、アクティビティとしてラワンとアルソミトラの種の模型キットを作って実施しました。種がどのようにして飛んでいるかを勉強しながら、誰が一番長く遠くに飛ばせるかと競い合いながら楽しく参加していました。

今回の取組を通じて、森林の理解が深まればうれしく思います。

将来の学校林を願って

令和8年5月19日、標茶町立中茶安別小中学校の学校林において、「春の学校林活動」が行われ、全校生徒と父兄により活動しました。開会式を体育館で実施後、スクールバスで学校林に移動しました。

まず、標茶町森林組合職員により苗木の植え方の説明、当センター職員より植栽木を野生生物の食害から保護するための「保護管（ツリシエルター）」被覆の説明を行い、その後、3班に分かれて「トドマツ」「カラマツ」50本ずつ合計100本の苗木を森林組合が印をつけた箇所植樹をしました。

今年は、しっかり枝張りした大きな苗木が多かったせいか枝をシェルターの中へ納めるのに苦労していましたが、みんな上手に納め協力しながら作業していました。

植樹終了後に、昨年度植栽した箇所へ行き苗木の状態を確認に行っている生徒を見て真剣に向き合っていて素晴らしいなと思いました。

この学校林活動を通じて、生徒の皆さんが森林の良き理解者になって、今日植えた苗木が立派に育つよう願っています。



△作業完了後の様子



△植樹と保護管被覆の様子



国民の森林・国有林

林野庁 北海道森林管理局 釧路湿原森林ふれあい推進センター

〒085-0825 北海道釧路市千歳町6番11号

【IP】050-3160-5787 【TEL】0154-44-0533 【E-mail】h_kushiro_f@maff.go.jp

【URL】https://www.rinya.maff.go.jp/hokkaido/kusiro_fc/index.html



当センターは、根釧西部森林管理署が管理経営する国有林を主な活動区域として、フィールドの特徴を踏まえて、教育関係者、ボランティア団体・地域住民、企業、行政機関等の活動支援や技術指導を行っています。